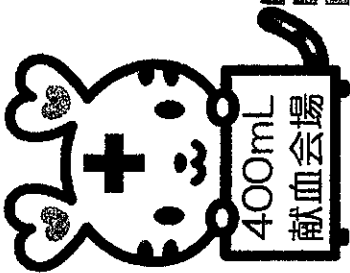




日本赤十字社
Japanese Red Cross Society



人間を救うのは、人間だ。

新型コロナウイルスワクチン接種
48時間後から献血できます。
mRNAワクチンを含むRNAワクチンの場合、
1回目、2回目の接種とともに、上記期間を経過すれば
献血にご協力いただけます。

☆ 血液検査サービス ☆
献血された方には糖尿病・肝機能・腎機能・
コレステロールなどの検査結果をお知らせします。
健康管理にお役立てください。

①～⑦に該当する方は、献血をご遠慮ください。

- ① 3日以内に出血を伴う歯科治療 (抜歯、歯石除去等)を受けた方
- ② 4週間以内に海外から 帰国(入国)した方
- ③ 1ヵ月以内にピアスの穴を あけた方
- ④ エイズ検査が目的の方
- ⑤ 6ヵ月以内に以下に該当する方
(a) 不特定の異性または新たな異性と性的接触があった
(b) 男性どうしの性的接触があった
(c) 麻薬、覚せい剤を使用した
(d) 上記(a)～(c)に該当する人と性的接触をもった
- ⑥ 今までに以下に該当する方
(a) 輸血(自己血を除く)や臓器の移植を受けた
(b) ヒト由来プラセミア注射薬を使用した
(c) 梅毒、C型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった
(d) エイズ検査(HIV検査)の結果が陽性だった
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症について 以下に該当する方
(a) 今までに新型コロナウイルス感染症と診断されたことがある
(b) 今までに検査を受け、陽性になったことがある
(c) 新型コロナウイルス感染症が疑われ、検査を受け、陰性だったが検体採取日から4週間以内である
(d) 検査を受け、直近の結果がまだ判明していない
(e) 4週間以内に感染者の濃厚接触者となった
(f) 味覚・嗅覚の違和感を自覚する

※その他にも患者さんや献血される方の安全性を確保するため、
検診医の判断により献血をご遠慮いただくことがありますので、ご了承ください。

献血の日です。

7月29日(木)

受付 午前部 9:30～11:45
時間 午後部 1:00～4:00

お昼休憩は状況により前後する場合がございますので、ご了承ください。

会場 長久手市保健センター 1階
市役所敷地内 N-バスのバス停前

主催 愛知中央ライオンズクラブ
長久手市商工会・長久手市

全血献血400mLの採血基準 (一部)

年齢	男性 17～69歳 女性 18～69歳	体重	男女とも 50kg以上
	※65歳以上の方は、60歳以降献血経験がある方	年間回数	男性3回以内、女性2回以内

服用中でも献血できる薬(例)

薬の種類によって、服用していても
献血可能なものがあります。

- ① 当日に服用していても献血できる
血圧の薬 コレステロールの薬
痛風の薬 アレルギニー・花粉症の薬
漢方薬 胃腸薬 サプリメント など
- ② 前日までの服用であれば献血できる
市販のかぜ薬 痛み止め など

	マスク着用 ※1		手洗い又は 手指消毒		体温測定 ※2
--	-------------	--	---------------	--	------------

新型コロナウイルス感染拡大防止のため
以下のとおりご協力をお願いします。

※1 マスクをお持ちでない方は職員へお申し出ください。
※2 発熱が確認された方は入場をご遠慮いただいています。

愛知県赤十字血液センター

自然採血のため再生紙を使用しています。

献血の基準について

健康な方ならば、献血による身体への影響はほとんどありません。しかし、体調をくずしていたり、健康状態の良くない時に献血をすると健康を損ねる場合があります。献血者の健康を守るためにさまざまな基準を設けています。

(献血基準)

項目	全血献血		成分献血	
	400mL献血	200mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血
1回献血量	400mL	200mL	600mL以下 (単位血漿量の12%)	
年齢	男性:17~69歳※1 女性:18~69歳※1	16~69歳※1	18~69歳※1	男性:18~69歳※1 女性:18~54歳
体重	男女とも50kg以上	男性:45kg以上 女性:40kg以上		
最高血圧		90mmHg以上	180mmHg未満	
最低血圧		50mmHg以上	110mmHg未満	
脈拍		40回/分以上	100回/分以下	
体温		37.5℃未満		
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性:13.0g/dL以上 女性:12.5g/dL以上	男性:12.5g/dL以上 女性:12.0g/dL以上※2	12.0g/dL以上 (赤血球数が基準値にある) (女性は11.5g/dL以上)	12.0g/dL以上
血小板数	—	—	—	15万/μL以上
1年※3に献血できる回数 (1年は852日として計算)	男性:3回以内 女性:2回以内	男性:6回以内 女性:4回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血漿成分献血と合計で24回以内	

※1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られます。

※2 愛知県では、男性の基準を13.0g/dL以上、女性の基準を12.5g/dL以上としています。

※3 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

(献血の間隔)

前回の献血	全血献血		成分献血	
	400mL献血	200mL献血	血漿成分献血	血小板成分献血※
200mL献血	男女とも4週間後の同じ曜日から献血できます			
400mL献血	男性は12週間後、女性は16週間後の 同じ曜日から献血できます		男女とも8週間後の同じ曜日から 献血できます	
血漿成分献血	男女とも2週間後の同じ曜日から献血できます			
血小板成分献血	男女とも2週間後の同じ曜日から献血できます			

※血漿を含まない場合には、1週間後に血小板成分献血が可能になります。ただし、4週間に4回実施した場合には次回までに4週間以上あけてください。

献血Q&A

献血は誰でもできるの？

A. 献血者の健康面の安全を確保するため、また、輸血を受ける方の安全を守るために、献血を行っていただけたらご質問を行います。献血基準の主なものは、左図のとおりです。

また、輸血を受ける方の安全を守るため、HIV(エイズの原因となるウイルス)感染が疑われる方、輸血や臓器移植を受けた方、一定の期間に英国などへの海外滞在歴がある方等については問診で確認し、献血をご遠慮いただいています。

献血の際に、病気がうつることはありませんか？

A. 衛生環境は厳重に管理しているため、心配ありません。

献血をする時に使われる針や血液のバッグなどは、献血者一人ごとに新しいものと交換されますので、ほかの献血者から肝炎ウイルスやHIVなどがうつる心配は絶対にありません。

初めての献血ですが、400mL献血でも大丈夫ですか？

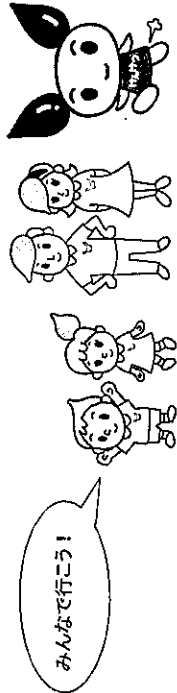
A. 献血前に医師が問診により健康状態を伺い、血圧や血色素量(ヘモグロビン濃度)を測定して、採血基準に適合するかどうかを判断しますので、ご安心ください。

ちなみに、人間の血液量は一般的に男性で体重の約8%、女性で体重の約7%といわれており、例えば、体重50kgの方であれば、男性は約4,000mL、女性は約3,500mL血液が流れています。

医学的にみて全血液量の15%以内が失われても問題がないことが報告されていますので、男性600mL、女性525mLまでの献血は問題ないこととなります。

医療の現場では、どれくらい400mL献血の血液製剤を必要としているのでしょうか？

A. 全国の医療機関への赤血球製剤の供給は、97%以上が400mL献血由来の血液製剤となっております。



愛知県赤十字血液センターのホームページはこちら！
<https://www.bs.jrc.or.jp/tkhr/aichi/>